

2025年 (令和7年)
12月25日
No.622
毎月2回10日/25日発行

リユース経済新聞

THE REUSE ECONOMIC JOURNAL

発行所: (株)リフォーム産業新聞社
亀岡大郎取材班グループ
本社: 〒104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
TEL: 03 (6260) 6948 FAX: 03 (6260) 6945
発行人: 加藤光次郎
暮らしをよくする、専門メディア

今号の注目記事

インタビュー 9
自治体連携リユース店FCで拡大



ジモティー
加藤貴博社長

注目の取組み 11

メルカリ
お宝を見つける体験イベント
「捨てられそうなお宝ミュージアム」



買い取りたいTOP5 13

新陳代謝が進む中古ヘッドホン
最新技術とアナログ回帰

ピックアップニュース 14

万博資材リユース「ミヤク市」
横浜花博や復興住宅で再利用

2025年10大ニュース 28

輸出に逆風、切手相場下落
外部環境激変で揺らぐ成長モデル



ソフマップの店頭では、Windows11の中古PCが売られている

特需反動減に懸念も

小売りが強いソフマップでは、9~10月の中古PC販売台数が前年の倍近くに増えた。売れているのは、Windows 11搭載の中古PCだ。10サポート終了を受けて、10から11への買い替えの

Windows 10のサポート終了とGIGAスクール端末の更新が重なり、中古パソコン市場が沸いている。ソフマップ、アンカーネット、ワークサービス、MTNの3社では、秋以降、中古PCの販売や買取量が揃って増加。市場は数年に一度の特需局面を迎えている。ただ、この盛り上がりの先には反動減への懸念もにじむ。

中古PC市場活況

GIGAとWin10サポート終了で

駆け込みがあった。10の買取りが本格的に増えてくるのは、ユーザのデータ移行などが終わる12月以降と見ている。買い取った10のPCは法人からの需要がある。社内システムが11に対応しない企業が依然多いため、「Win10搭載モデル指し買い」があるのだという。

アンカーネットワークサービスは、1月~10月までの買取量が、前年比で148.6%となった。パソコン以外の全てのアイテムを含む数字ではあるが、買取りが大幅に伸びた大きな要因はGIGAとWin10サポート終了にあると説明する。

同社は今年の夏休み、ある自治体からリースアップのGIGA端末を8.7万台買い取った。GIGA端末は状態が良くないと言われることも

あるが、正常率は、リース対象としているA品B品を合わせて5割と、想定内の範囲内だった。同社の卸価格は1台2000~3000円ほど。卸先の小売店では、4000~6000円で販売されているという。

尚、現在市場に出てきているGIGA端末はリース案件。自治体が資産として持っている端末が出てくるのは来年度になりそうと話す。

Win10 PCも入荷している。同社はECを通じていた小売りも強化しており、10から11にアップグレードして3万~5万円程度で販売している。MTNでも、GIGAとWin10関連の依頼が急増している。同社は国際基準に準拠したデータ消去を武器に、法人や自治体からの案件を幅広く受けている。依頼は現在でも月数万台規模に上

アシスト オンライン古物市7拠点へ 来年度中に西日本など新設

アシスト(神奈川県横浜市)が道員のアシスト古物市場「バッテリーオークション」の拠点を増やす。来年度には福岡、大阪、岡山、東北への開設を計画している。来年度中に4拠点を新設するのが目標。全国7拠点の展開とする。同市場の会員数は80

り、すべてを受け切れないほどだという。GIGA端末については「想定より状態が良い」と話す。壊れて再販できないものは1割程度。残りはランク分けの上、すべて再販に回している。GIGA端末の多くを占めるクロームブックも、クラウド環境での利用が進んだことで市場価値が上がっており、同社は2000~3000

円程度で買取、小売店では7000~8000円程度で販売されているという。中古PCを取り扱う企業の多くは、数年に一度の特需で業績を伸ばしている。ただし、GIGA端末の大量供給は、中古PCの市場価格を押し下げる可能性がある。価格変動と需給バランスを読む組織的な売買が求められる。また、GIGAとWi

n10特需は長くて2026年いっぱいまで見られる。その先の反動減に備える必要がある。

AI需要でメモリ高騰
中古市場でも品薄に

AIデータセンター向け需要が急増する中、PC用メモリの価格が異例の高騰を続けている。最新規格のDDR5に加えて、主に中古PCで使われるDDR4も生産縮小の影響で値上がりした。

中古PCの卸と小売りを一挙にアンカーネットワークサービスによると、数カ月で卸価格が1.5倍に跳ね上がったという。小売りが強いソフマップでは、特に32GBや64GBの大容量品は入荷後

すぐ売れる状態。買取価格は底値から1万円以上値上げしている。リユース企業は在庫確保のために買取価格を引き上げざるを得ず、粗利率は下落傾向が続いている。

メモリ高騰は新品PCの価格上昇を招き、中古PCの需要増につながる可能性がある。ただ一方で、買い替えが鈍る恐れもある。



バッテリーライブオークションの厚木センターの様子。1回あたり、家電や家具、雑貨など約1200点が集まる



オークション事業開発課
営業推進責任者
金山博康氏

・買い手とも1点あたり手数料を一律1000円に抑えた料金体系だ。一般的な歩合制に比べ、高単価品ほど負担が軽くなるため、質の良い商品が集まる。厚木拠点は毎週の冷蔵庫・洗濯機の出品量が約600台にのぼり、中古家電調達の市場

バッテリーライブオークションの特徴は、売り手手数料を一律1000円に抑えた料金体系だ。一般的な歩合制に比べ、高単価品ほど負担が軽くなるため、質の良い商品が集まる。厚木拠点は毎週の冷蔵庫・洗濯機の出品量が約600台にのぼり、中古家電調達の市場

メルカリと駿河屋提携 エンタメ・ホビーを越境で

メルカリと駿河屋が12月17日、資本業務提携を行ったと発表した。メルカリ上に駿河屋の全商品を連携し、エンタメ・ホビー領域で日本最大級の商品数を実現する。

メルカリグローバルアプリ上で駿河屋の公式ECサイトも展開し、世界中のユーザーが買えるようになる。また、駿河屋の真贋鑑定ノウハウを活用し、偽造品排除に向け

メルカリは2019年に越境取引事業を開始。年間900億円超えの規模に拡大している。エンタメ・ホビー領域は取引の60~70%を占める。駿河屋との提携で、エンタメ・ホビー領域のグローバルコマースを推進する。尚、駿河屋は152店舗を運営し、数千万点規模の在庫を持つ。

移動させる「幹線便」を走らせるなど、利用者の手間とコストを最大限に抑える工夫も行っている。

アシストはオークション事業のほか、中古スマホの入れかえ「アシストモバイルマーケット」出張買取事業などを展開する総合リユース企業だ。